

食物アレルギー事故報告のフィードバックシート

資料 2 - 1

発生	時期：令和 6 年 3 月上旬 場所：教室		
発見者	担任	該当児童学年	小学 2 年生
原因食物・原因献立名	小麦・仙台麴の卵とじどんぶり（卵抜き）		
アナフィラキシー	発生なし		
エピペン®	使用：なし 携帯：なし		
予後	症状なし		
アレルギー緊急時対応マニュアル（*）の使用	あり	症状チェックシート（*）の使用	なし
発生状況	12：15	該当児は複数のアレルギーがあり、共同調理場（卵のみアレルギー対応の除去食を提供している）より、卵抜きの除去食「仙台麴の卵とじどんぶり」が学校へ届いており、配膳時間になり、配膳室から該当児の名前が入った除去食がクラスに届けられていた。 この日は、給食の準備時にトラブルがあり、担任はその後始末とまだ配膳できていない給食の対応に追われていた。	
	12：20	本来なら除去食は保護者から提出されたもりつけ表を確認し小麦が入っているため提供しないはずであったが、もりつけ表の確認をしないで担任は本人に配膳してしまう。	
	12：25	該当児の机の上には保護者準備の代替食（卵・小麦抜き）があったが、除去食が配膳されたため、仙台麴を一口食べる。該当児は心配になり自分の席で泣いていたところ、近くの児童が担任へ伝え、該当児が誤食したことを担任へ申し出る。担任はすぐに体調を確認し、アレルギー症状はなかったが、養護教諭が不在であったため、管理職へ報告。	
	12：30	担任から保護者に連絡し、経緯を説明し、学校への迎えを依頼した。保護者が来るまでの間、職員室で安静にして経過観察。	
	13：20	祖母が来校し早退。	
	17：30	担任が保護者へ連絡し体調確認。帰宅後、アレルギー症状はなく病院への受診はなし。	
	その後	週明け、体調不良なく元気に登校。担任、養護教諭も体調確認。	
	原因	配膳時、もりつけ表を確認せず、該当児に小麦が含まれる除去食（卵アレルギー対応）が提供され、代替食を持参していたが喫食してしまう。	
今後の対応策	共同調理場の栄養教諭と協議し、「給食におけるアレルギー除去食一覧（月別）」の作成時に、アレルギーが複数あり除去食を提供しても食べられない場合は除去食の提供をしないこととした。食物アレルギー対応が必要な児童には個別の専用トレイ（アレルギー表示）を準備して給食時に使用。教室での配膳時、担任によるもりつけ表のチェックを食べる前の「いただきます」のタイミングで必ず実施する。本人、クラスの児童とも確認してから食べる体制を整える。4月の職員会議にて教職員に周知徹底し各教室で取り組んでいる。保護者と協議し、もりつけ表に代替食を記載しているが、当日の連絡帳にも代替食があることを記入し担任・該当児が意識できるようにする。6月の授業参観時、保護者を対象とした「アレルギー対応説明会」を実施し食物アレルギー対応への理解と情報交換を行い改善すべき事などについて協議。教職員に食物アレルギーについて理解を図るため、現職教育にて食物アレルギーとアナフィラキシーについての解説、エピペンの実技と解説、緊急時のシミュレーション学習を12月に実施予定（小児科医師・看護師）		

※高松市学校給食アレルギー対応委員会記入欄（フィードバック・コメント等）

--

食物アレルギー事故報告のフィードバックシート

資料 2 - 2

発生	時期：令和6年7月初旬 場所：教室		
発見者	担任	該当児童学年	小学5年生
原因食物・原因献立名	牛乳・鶏肉と野菜のチャウダー		※複数のアレルギー原因食物あり 乳、卵、りんご、バラ科の果物、ナッツ類 (バラ科の果物、ナッツ類については食べられるものもある)
アナフィラキシー	発生あり		
エピペン®	使用：なし 携帯：処方ありだが携帯なし		
予後	回復（後遺症：なし）		
アレルギー緊急時対応マニュアル(*)の使用	あり	症状チェックシート(*)の使用	なし
発生状況	12:15	配膳時、該当児が担任に「チャウダー」を食べてよいのかについて相談。担任は保護者確認済のもりつけ表を確認し、「×」が書いてないので食べていい旨の内容を伝える。	
	12:25	該当児が「チャウダー」を3口ぐらい食べる。	
	12:25	その後、担任に該当児がチャウダーを食べ味が変だと訴え、急遽、食べるのを止めるように指示。喫食直後、喉にイガイガ症状が出る。	
	12:50	学級担任の指示により児童が保健室へ行く。学級担任が保護者と連絡。エピペン、薬は持参しておらず、保護者に救急車要請の了承をえる。	
	13:00	口腔内の症状だけでなく、さらに咳が増える。	
	13:07	教頭が救急車要請	
	13:10	救急車到着し、救急隊が保護者と病院に連絡。咳症状が強まったため救急車は病院へ出発。	
	13:45	病院着、診察開始	
	14:06	医師より症状が落ち着いているため、処置せず様子見との診断。その後、保護者とともに病院を出る。	
	15:15	該当児と保護者が来校し、担任と話した後帰宅。	
原因	牛乳アレルギーがあるにもかかわらず、給食のチャウダー（牛乳、バター、生クリーム入り）を喫食。月初めに、もりつけ表等（アレルギーチェック用資料）を保護者に渡し、食べられないものにチェックをつけてもらっているが、この日のチャウダーにはチェックが無かったため、担任は児童からの相談に対し、チェックがついていないから食べていい旨の内容を伝えた。普段ランドセルの中に常備しているエピペンと薬は宿泊学習用のリュックに入れており、ランドセルに無かった。		
今後の対応策	保護者へ、献立表のチェックを学校で漏れなく確認することは難しい旨を説明し、保護者にもれなく確認してもらうように声を掛ける。学級担任は気づく範囲ではあるが献立のチェックを行う。児童、保護者は、必ずエピペンと薬をランドセルに入れておく。学級担任と補助教員は、食べられるかどうか分からないものについては、食べないように指導する。児童が自ら判断できる力を身につけられるように、保護者と教員が連携して支援を行う。（文部科学省「学校給食における食物アレルギー対応指針」P31. 平成27年3月）		

※高松市学校給食アレルギー対応委員会記入欄（フィードバック・コメント等）

--

食物アレルギー事故報告のフィードバックシート

発生	時期：令和 6 年 9 月上旬 場所：教室																		
発見者	栄養教諭	該当児童学年	小学 3 年生																
原因食物・原因献立名	やまいも・がんもどきとひじきのうま煮																		
アナフィラキシー	発生なし																		
エピペン®	使用：なし 携帯：なし		当日の献立 梅ちりめんごはん（麦入り）・牛乳 がんもどきとひじきのうま煮 ごまあえ																
予後	症状なし																		
アレルギー緊急時対応マニュアル（*）の使用	なし	症状チェックシート（*）の使用	なし																
発生状況	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>保護者確認のもりつけ表は教室後方に掲示されていた。 該当児童のもりつけ表には、やまいもアレルギーのため「がんもどきとひじきのうま煮」に『×、代替食』と記載があった。しかし、当日、該当児童は代替食を持参していなかった。</td> </tr> <tr> <td>12：00</td> <td>4 時間目の体育で時間が遅くなり、給食の時間がおしていた。いつもは担任が配膳時にアレルギー食対応の児童をチェックするが、その日は急いでおり、チェックしていなかったため、うま煮が配膳される。</td> </tr> <tr> <td>12：05</td> <td>配膳終了後、「いただきます。」をしたが、アレルギー食の最後の確認を担当及び学級的全児童がしないまま給食開始となる。</td> </tr> <tr> <td>12：13</td> <td>栄養教諭がアレルギー対応児童の給食巡回中に、当該児童がうま煮を食べていることに気が付き、食べるのを止めさせる。その時点で、うま煮を半分くらい食べていた。当該児童いわく、がんもどき（やまいも入り）は食べていないとのこと。喫食直後の体調不良はなし。 その後、3 分おきに体調を確認したが体調に変化なし。 担任が母親に連絡したが繋がらず、父親に連絡し、体調に変化がなかったため様子をみることにした。</td> </tr> <tr> <td>13：05</td> <td>母親から連絡があり、担任が当該児童の状態を伝えたが、母親も様子見でよいこととなる。</td> </tr> <tr> <td>13：15</td> <td>下校時間になり、担任が当該児童を家まで送迎する。</td> </tr> <tr> <td>17：00</td> <td>母親が別件で来校したため、担任が当該児童の様子を確認したところ、問題はないとのこと。</td> </tr> <tr> <td>その後</td> <td>翌日、栄養教諭と教頭が当該児童に体調を確認したところ、特に問題はないとのことであった。</td> </tr> </table>				保護者確認のもりつけ表は教室後方に掲示されていた。 該当児童のもりつけ表には、やまいもアレルギーのため「がんもどきとひじきのうま煮」に『×、代替食』と記載があった。しかし、当日、該当児童は代替食を持参していなかった。	12：00	4 時間目の体育で時間が遅くなり、給食の時間がおしていた。いつもは担任が配膳時にアレルギー食対応の児童をチェックするが、その日は急いでおり、チェックしていなかったため、うま煮が配膳される。	12：05	配膳終了後、「いただきます。」をしたが、アレルギー食の最後の確認を担当及び学級的全児童がしないまま給食開始となる。	12：13	栄養教諭がアレルギー対応児童の給食巡回中に、当該児童がうま煮を食べていることに気が付き、食べるのを止めさせる。その時点で、うま煮を半分くらい食べていた。当該児童いわく、がんもどき（やまいも入り）は食べていないとのこと。喫食直後の体調不良はなし。 その後、3 分おきに体調を確認したが体調に変化なし。 担任が母親に連絡したが繋がらず、父親に連絡し、体調に変化がなかったため様子をみることにした。	13：05	母親から連絡があり、担任が当該児童の状態を伝えたが、母親も様子見でよいこととなる。	13：15	下校時間になり、担任が当該児童を家まで送迎する。	17：00	母親が別件で来校したため、担任が当該児童の様子を確認したところ、問題はないとのこと。	その後	翌日、栄養教諭と教頭が当該児童に体調を確認したところ、特に問題はないとのことであった。
	保護者確認のもりつけ表は教室後方に掲示されていた。 該当児童のもりつけ表には、やまいもアレルギーのため「がんもどきとひじきのうま煮」に『×、代替食』と記載があった。しかし、当日、該当児童は代替食を持参していなかった。																		
12：00	4 時間目の体育で時間が遅くなり、給食の時間がおしていた。いつもは担任が配膳時にアレルギー食対応の児童をチェックするが、その日は急いでおり、チェックしていなかったため、うま煮が配膳される。																		
12：05	配膳終了後、「いただきます。」をしたが、アレルギー食の最後の確認を担当及び学級的全児童がしないまま給食開始となる。																		
12：13	栄養教諭がアレルギー対応児童の給食巡回中に、当該児童がうま煮を食べていることに気が付き、食べるのを止めさせる。その時点で、うま煮を半分くらい食べていた。当該児童いわく、がんもどき（やまいも入り）は食べていないとのこと。喫食直後の体調不良はなし。 その後、3 分おきに体調を確認したが体調に変化なし。 担任が母親に連絡したが繋がらず、父親に連絡し、体調に変化がなかったため様子をみることにした。																		
13：05	母親から連絡があり、担任が当該児童の状態を伝えたが、母親も様子見でよいこととなる。																		
13：15	下校時間になり、担任が当該児童を家まで送迎する。																		
17：00	母親が別件で来校したため、担任が当該児童の様子を確認したところ、問題はないとのこと。																		
その後	翌日、栄養教諭と教頭が当該児童に体調を確認したところ、特に問題はないとのことであった。																		
原因	① 朝の確認は平日頃から行っていない。 ② 給食準備の時、急いでいたため、アレルギー食の児童の確認をしていなかった。（いつもは担任がしている。） ③ 食べる直前、急いでいたため「そろっていますか。」の声掛けがなかった。（いつもは日直の声掛けで確認している。） ④ 担任一人が確認するシステムだった。																		
今後の対応策	全校統一で以下の様な対応を行う。 ① 朝、代替食児童のチェックを担当が行う。 ② 代替食を置く場所を教室の中に作る。 ③ 給食準備の際、担任とアレルギー食の児童と配膳係でチェックする。 ④ 「いただきます。」のあいさつの時、チェックをするための定型文を全校統一で盛り込み、担任が最終確認を行う。 ⑤ 症状チェックシートを教室につるしておく。																		

※高松市学校給食アレルギー対応委員会記入欄（フィードバック・コメント等）

--

食物アレルギー事故報告のフィードバックシート

発生	時期：令和 6 年 11 月上旬 場所：教室																		
発見者	担任	該当児童学年	小学 6 年生																
原因食物・原因献立名	あさり・クラムチャウダー																		
アナフィラキシー	発生なし																		
エピペン®	使用：なし 携帯：なし（処方なし）		当日の献立 セルフリキンドッグ・牛乳 クラムチャウダー																
予後	症状なし																		
アレルギー緊急時対応マニュアル（*）の使用	あり	症状チェックシート（*）の使用	なし																
発生状況	保護者確認のもりつけ表は教室の教卓横に掲示されていた。 該当児童のもりつけ表には、貝アレルギーのため「クラムチャウダー」に『×、代替食』と記載があった。しかし、該当児童は代替食の持参を忘れていた。 <table border="1"> <tr> <td>12：10</td> <td>給食時間開始。給食場から、アレルギー対応が必要という印（ネームタグ）をお盆の上にのせて提供した。</td> </tr> <tr> <td>12：25</td> <td>給食開始となる。他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまう。</td> </tr> <tr> <td>12：35</td> <td>クラムチャウダーを半分食べたところで、アレルギーに気づき食べてはいけなかったと担任に申し出る。</td> </tr> <tr> <td>12：40</td> <td>担任から栄養教諭へ連絡が入る。栄養教諭が様子を確認し、保護者へ連絡する。（この時点で目立った症状なし。）</td> </tr> <tr> <td>12：45</td> <td>保護者との電話で、現段階で症状は出ていないが、持参している処方薬を服用することを承諾してもらう。電話後、教室で服用する。</td> </tr> <tr> <td>12：50</td> <td>保健室へ移動。その後、13：30 まで保健室で様子を観察するが、特に症状もなかったため、授業に復帰する。</td> </tr> <tr> <td>15：30</td> <td>下校前に、体調の様子を確認するが、良好との事でそのまま下校する。</td> </tr> <tr> <td>18：30</td> <td>担任から母親に連絡を入れ、症状が出ていないことを確認する。</td> </tr> </table>			12：10	給食時間開始。給食場から、アレルギー対応が必要という印（ネームタグ）をお盆の上にのせて提供した。	12：25	給食開始となる。他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまう。	12：35	クラムチャウダーを半分食べたところで、アレルギーに気づき食べてはいけなかったと担任に申し出る。	12：40	担任から栄養教諭へ連絡が入る。栄養教諭が様子を確認し、保護者へ連絡する。（この時点で目立った症状なし。）	12：45	保護者との電話で、現段階で症状は出ていないが、持参している処方薬を服用することを承諾してもらう。電話後、教室で服用する。	12：50	保健室へ移動。その後、13：30 まで保健室で様子を観察するが、特に症状もなかったため、授業に復帰する。	15：30	下校前に、体調の様子を確認するが、良好との事でそのまま下校する。	18：30	担任から母親に連絡を入れ、症状が出ていないことを確認する。
12：10	給食時間開始。給食場から、アレルギー対応が必要という印（ネームタグ）をお盆の上にのせて提供した。																		
12：25	給食開始となる。他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまう。																		
12：35	クラムチャウダーを半分食べたところで、アレルギーに気づき食べてはいけなかったと担任に申し出る。																		
12：40	担任から栄養教諭へ連絡が入る。栄養教諭が様子を確認し、保護者へ連絡する。（この時点で目立った症状なし。）																		
12：45	保護者との電話で、現段階で症状は出ていないが、持参している処方薬を服用することを承諾してもらう。電話後、教室で服用する。																		
12：50	保健室へ移動。その後、13：30 まで保健室で様子を観察するが、特に症状もなかったため、授業に復帰する。																		
15：30	下校前に、体調の様子を確認するが、良好との事でそのまま下校する。																		
18：30	担任から母親に連絡を入れ、症状が出ていないことを確認する。																		
原因	① もりつけ表には、代替食持参と記入があったが、保護者が忘れていたため、食べてしまった。 ② 通常は、ネームタグを担任が確認し、食器を減らす等の対応をしていたが、今回は他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまった。																		
今後の対応策	喫食前に担任が必ず確認を行う。担任が不在の場合は、ネームタグと盛り付け表で児童だけでも確認するように指導していく。（高学年であり、自己管理能力を育む。）																		

※高松市学校給食アレルギー対応委員会記入欄（フィードバック・コメント等）

--

食物アレルギー事故報告のフィードバックシート

発生	時期：令和 6 年 11 月上旬 場所：教室																		
発見者	担任	該当児童学年	小学 6 年生																
原因食物・原因献立名	あさり・クラムチャウダー																		
アナフィラキシー	発生なし																		
エピペン®	使用：なし 携帯：なし（処方なし）		当日の献立 セルフチキン・牛乳 クラムチャウダー																
予後	症状なし																		
アレルギー緊急時対応マニュアル（*）の使用	あり	症状チェックシート（*）の使用	なし																
発生状況	<table border="1"> <tr> <td></td><td>保護者確認のもりつけ表は教室の教卓横に掲示されていた。該当児童のもりつけ表には、貝アレルギーのため「クラムチャウダー」に『×』と記載があった。※代替食はいつも持参なしの児童。</td></tr> <tr> <td>12：10</td><td>給食時間開始。給食場から、アレルギー対応が必要という印（ネームタグ）をお盆の上ののせて提供した。</td></tr> <tr> <td>12：30</td><td>給食喫食開始（放送委員のため、喫食開始時間が遅かった。）他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまう。</td></tr> <tr> <td>12：35</td><td>クラムチャウダーを半分食べたところで、アレルギーに気づき食べてはいけなかったと担任に申し出る。</td></tr> <tr> <td>12：40</td><td>担任から栄養教諭へ連絡が入る。栄養教諭が様子を確認し、保護者へ連絡する。（この時点で目立った症状なし。）</td></tr> <tr> <td>12：45</td><td>保護者との電話で、薬は処方されているが、学校には持参していないこと。家では、貝エキスを食べる練習をしており、症状等もでていないこと。このまま様子を見て、悪化しなければそのまま要観察で良い事を確認する。</td></tr> <tr> <td>12：50</td><td>保健室へ移動。その後、13：30 まで保健室で様子を観察するが、特に症状もなかったため、授業に復帰する。</td></tr> <tr> <td>15：30</td><td>下校前に、体調の様子を確認するが、すこぶる良好との事。そのまま下校する。</td></tr> </table>				保護者確認のもりつけ表は教室の教卓横に掲示されていた。該当児童のもりつけ表には、貝アレルギーのため「クラムチャウダー」に『×』と記載があった。※代替食はいつも持参なしの児童。	12：10	給食時間開始。給食場から、アレルギー対応が必要という印（ネームタグ）をお盆の上ののせて提供した。	12：30	給食喫食開始（放送委員のため、喫食開始時間が遅かった。）他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまう。	12：35	クラムチャウダーを半分食べたところで、アレルギーに気づき食べてはいけなかったと担任に申し出る。	12：40	担任から栄養教諭へ連絡が入る。栄養教諭が様子を確認し、保護者へ連絡する。（この時点で目立った症状なし。）	12：45	保護者との電話で、薬は処方されているが、学校には持参していないこと。家では、貝エキスを食べる練習をしており、症状等もでていないこと。このまま様子を見て、悪化しなければそのまま要観察で良い事を確認する。	12：50	保健室へ移動。その後、13：30 まで保健室で様子を観察するが、特に症状もなかったため、授業に復帰する。	15：30	下校前に、体調の様子を確認するが、すこぶる良好との事。そのまま下校する。
	保護者確認のもりつけ表は教室の教卓横に掲示されていた。該当児童のもりつけ表には、貝アレルギーのため「クラムチャウダー」に『×』と記載があった。※代替食はいつも持参なしの児童。																		
12：10	給食時間開始。給食場から、アレルギー対応が必要という印（ネームタグ）をお盆の上ののせて提供した。																		
12：30	給食喫食開始（放送委員のため、喫食開始時間が遅かった。）他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまう。																		
12：35	クラムチャウダーを半分食べたところで、アレルギーに気づき食べてはいけなかったと担任に申し出る。																		
12：40	担任から栄養教諭へ連絡が入る。栄養教諭が様子を確認し、保護者へ連絡する。（この時点で目立った症状なし。）																		
12：45	保護者との電話で、薬は処方されているが、学校には持参していないこと。家では、貝エキスを食べる練習をしており、症状等もでていないこと。このまま様子を見て、悪化しなければそのまま要観察で良い事を確認する。																		
12：50	保健室へ移動。その後、13：30 まで保健室で様子を観察するが、特に症状もなかったため、授業に復帰する。																		
15：30	下校前に、体調の様子を確認するが、すこぶる良好との事。そのまま下校する。																		
原因	① アレルギー対応の時は、いつも代替食を持ってこない児童だったため、本人も気づきにくかった。 ② 通常は、ネームタグを担任が確認し、食器を減らす等の対応をしていたが、今回は他のトラブル対応のため担任が不在で、担任が確認する前に食べ始めてしまった。 ③ 本人は、クラム＝あさりだと気づかなかった。																		
今後の対応策	喫食前に担任が必ず確認を行う。担任が不在の場合は、ネームタグと盛り付け表で児童だけでも確認するように指導していく。（高学年であり、自己管理能力を育む。）																		

※高松市学校給食アレルギー対応委員会記入欄（フィードバック・コメント等）

--